

和の光



宝塚市立西谷中学校

気分新たに、夢を持って自分の殻を破ろう

校長 筒井 啓介

2週間の春休みが終わり、朝からみなさんが久しぶりに登校し、校庭や校舎に元気な挨拶や笑い声があふれ、西谷中学校に活気ももどってきました。こうして元気な皆さんに再会できたことをとても嬉しく思います。

春は出会いと別れの季節といわれます。3月には9名の3年生が巣立ち、先ほど紹介した6名の先生方が転出され、新たに7名の先生をお迎えすることになりました。これからの人生において、みなさんはたくさんの人との出会いと別れを経験します。そこで、一つ一つの出会いを大切に、学んだことを人生の糧として活かして欲しいと思います。

さて、今日から新しい学年がスタートします。新しい学年のスタートに際して、皆さんに伝えたいことが3つあります。1つ目は、「**今までの自分にとられることなく、真っ白な新たな気持ちでスタートを切って欲しい**」ということです。人生の中で、自分が変わるチャンスはそんなに多くはありません。中学校生活の中では、入学の時、進級するとき、卒業する時、今日がそのチャンスの日です。このチャンスの日、新たな気持ちで新たなことに挑戦することにより、自分を変えることができます。また、今まで気づかなかった先生や仲間の新たな面を発見する日でもあります。昨年度までのことにとられず、新たな気持ちで新年度のスタートを切ってください。

2つ目は、終業式の日にお話したのですが、「**失敗を恐れることなく、自分の殻を破り、なりたい自分、やりたいことを実現して欲しい**」と思います。皆さんには無限の可能性があります。大切なのは、大きな勇気ではなく、「一歩を踏み出す」小さな勇気です。できることから、小さなことかまいません、ぜひチャレンジしてください。

3つ目は、「**自分の夢や目標を持って欲しい**」ということです。勉強や部活動など、自分の夢や目標を持って学校生活を送ってください。例えば、「将来このような仕事につきたい」「卒業後、この学校に進学したい」「いつまでにこんなことができるようになりたい」など、できるだけ具体的な目標をもつようにしてください。できればその目標を友達や先生にことばに出して伝えてみてください。目標が達成できた時の自分をイメージしてみるのもいいと思います。小さなことから結構です。具体的な夢や目標を持つことで、それに向かって今自分がやらなければならないことが見えてきます。また、やる気がわいてきます。新学期のスタートにあたり、あらためて自分の夢や目標を持ってください。

この1年が充実した学校生活になるように、みなさんと一緒に頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。

■言葉の花束

新学年のスタートに際して、2・3年生に左記のような挨拶をさせていただきました。その際に、兵庫県出身の冒険家 植村直己さんの著書の中から、「挑戦することの大切さ」「目標や夢の大切さ」についてのメッセージを西谷中生におくらせてもらいました。

「懸命に心を打ち込むこと
その中から
またやりたいものが生まれる
一つの目標の成功が
さらに新しい夢を呼び
さらにその夢の達成が
次のものを生むのである」

「できる できないはともかく
真剣に考え
挑戦することが大切」

※植村直己（1941-1984年：兵庫県豊岡市日高町生まれの冒険家、大学卒業後アルバイトをしながら、世界放浪の旅に出る。日本人初の世界最高峰エベレスト登頂、世界初の5大陸最高峰登頂、南極圏および北極圏を犬ぞりで走破）

■始業式の様子

体育館で着任された先生方の紹介を行い、学年組織等を発表しました。引き続き各学級で、担任の先生と学年の先生から、新たな学年としての期待や抱負についてお話がありました。下記に教室の様子を紹介します。



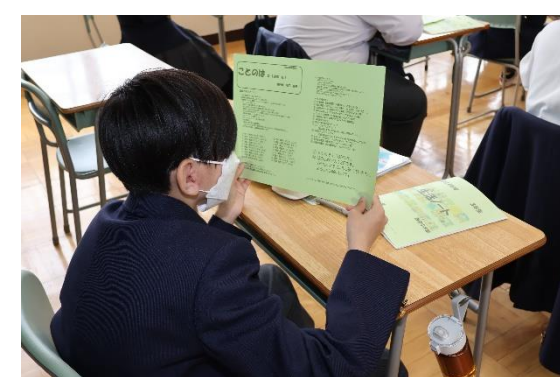
着任された先生からの挨拶



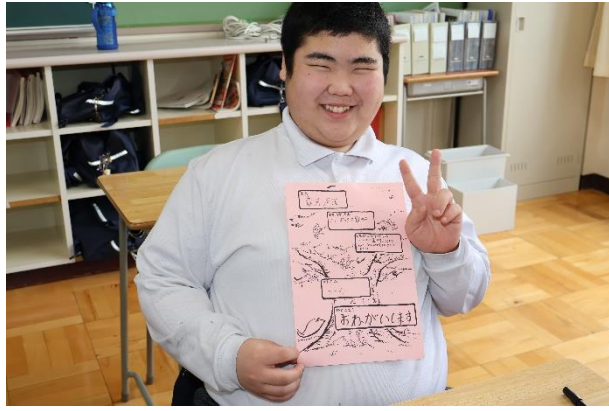
担任からの挨拶（3年生）



教室の様子（3年生）



教室の様子（3年生）



自己紹介カードが完成(3年生)



担任からの挨拶(2年生)



新しい教科書に名前を記入(2年生)



教室の様子(2年生)